

公益社団法人日本地球惑星科学連合
平成 27 年度第 6 回理事会議事録

1. 開催日時 平成 28 年 3 月 10 日 (木)
15 時 00 分から 18 時 00 分
2. 開催場所 東京大学理学部 3 号館 3 階 320 号室
(東京都文京区本郷 7-3-1)
3. 出席者 理事数 20 名
出席理事 14 名 (定足数 11 名 会議成立)
出席監事 0 名
オブザーバー 10 名
4. 議長 理事 津田 敏隆
5. 出席役員
理事 津田 敏隆
理事 木村 学
理事 中村 正人
理事 奥村 晃史
理事 高橋 幸弘
理事 瀧上 豊
理事 田中 賢治
理事 西 弘嗣
理事 畠山 正恒
理事 浜野 洋三
理事 日比谷 紀之
理事 古村 孝志
理事 村山 泰啓
理事 渡邊 誠一郎

6. 出席オブザーバー

宇宙惑星科学セクションプレジデント 佐々木 晶
大気水圏科学セクションバイスプレジデント 杉田 倫明
地球人間圏科学セクションプレジデント 氷見山 幸夫
固体地球科学セクションプレジデント 大谷 栄治
固体地球科学セクションバイスプレジデント 西山 忠男
固体地球科学セクション幹事 木村 純一
地球生命科学セクションプレジデント 小林 憲正
広報普及委員長 田近 英一
2017年大会国内準備タスクフォース議長 末廣 潔
教育検討委員会副委員長 根本泰雄

午後 15 時 00 分、理事の定数に足る出席があったので、会長津田敏隆は議長席に着き、理事会が成立することを宣言した。インターネット電話 **Skype** を利用し、遠隔地から参加する佐々木晶セクションプレジデントが審議に確実に参加できることを互いに確認した。

7. 審議事項

第 1 号議案 新入会員承認の件（古村孝志理事）

定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を承認した。

第 2 号議案 平成 28 年度事業計画および収支予算書承認の件（古村理事、西理事）

平成 28 年度事業計画および収支予算書について審議された結果、承認された。

第 3 号議案 2016 年度連合フェローの承認の件（中村正人理事）

2 月 18 日に開催されたフェロー審査委員会にて選出されたフェロー受賞候補者の報告があり、フェロー受賞者が承認された。

第 4 号議案 IAG-IASPEI2017 大会協賛の件（古村孝志理事）

IAG-IASPEI2017 大会協賛の申請について審議し、その結果、承認された。同時に依頼があった委員選出については、役職指定で会長を選出した。

第 5 号議案 IGAC-iCACGP2018 サポートレター承認の件（古村孝志理事）

IGAC-iCACGP2018 サポートレターの申請について審議し、その結果、承認された。

第 6 号議案 25 周年記念行事実行委員会の解散の件（古村孝志理事）

25 周年記念行事が終了したため、実行委員会の解散が認められた。

第 7 号議案（削除）

第 8 号議案 教員免許更新講習開設の件

教員免許更新制に関わる教員免許状更新講習について審議された。JpGU が実施する意義が確認された。次年度から 2 期（4 年間）に開催し、成果を評価したうえでその後継続するかを判断することとし、次年度の事業実施を目指して、内閣府公益認定等委員会に公益事業変更認定申請を行う。また事業実施に伴う財政的課題および事務局への負担をさらに詳しく検討することになった。

また、次期の高等学校学習指導要領に向けた JpGU(教育検討委員会)から文部科学省に提言を提出することが、教育検討委員会の根本副委員長から提案された。今回の理事会では提言の最終案が認められなかったが、一方、提言が効果を持つためには年度内に提出する必要があるため、「提言・サポートレターの発行に関する申し合わせ」に従って、今後メール審議を行うことになった。

8. 報告事項

(1) 津田敏隆代表理事職務報告

津田代表理事より 2 月 29 日に開催された役員候補者推薦委員会の報告があった。

役員候補者推薦委員会では理事候補者選挙結果に基づき理事候補者 20 名と監事候補者 3 名を定時社員総会へ推薦したことが紹介された。（注：理事会には推薦委からの報告義務はない）

団体会員について、これまでの議論に基づき、定款および規則の変更箇所を議論した。

社員構成では団体会員を除き、選出代議員のみで構成することが議論された。今後、社員（代議員）の定数を検討する必要がある。また、学協会長会議の位置づけと、社員総会と理事会との協調関係についてさらに検討を加える必要がある。この提案を次回の社員総会で紹介し、次々回の社員総会で定款の改訂を目指す。

(2) 川幡穂高理事（ジャーナル担当）職務報告（津田敏隆会長代理報告）

川幡理事が海外出張のため、津田会長が代理でジャーナル出版に関する報告を行った。

2 月 16 日に JSPS にてジャーナル科研費 3 年目の中間評価ヒアリングが実施された。連合からは川幡理事、浅田の 2 名が出席して説明を行なった。50 学会が協力して出版しているということに positive なコメントがあった。また、2 月 8 日に開催された第 6 回編集長会議にて報告された出版論文（31 論文）の被引用率(IF)試算値（3.2～3.5）について説明が

あり、来年度に向けて Thomson Reuter あるいは SCOPUS への登録に全力を傾けるとの報告があった。

(3) 木村学理事（グローバル戦略担当）職務報告

3月1日に開催されたグローバル戦略委員会の報告があった。

2016年および2017年のAGUとのJointについて、学生旅費援助の申し込み状況、国際セッションへの投稿状況の報告があった。連合大会のbilingual化について議論された。

(4) 中村正人理事（顕彰担当）職務報告

フェロー授賞式および西田賞受賞者記念講演を準備中であるという報告があった。

(5) 古村孝志理事（総務担当）職務報告

前回の理事会以降連合が承認した後援等の報告があった。

選挙管理委員会からの二年後の選挙に向けての改善案が提案され、規則の変更については次回以降に検討されることになった。

年会費関連規則の運用上の問題点について古村理事より報告があり、今後、検討することとした。

(6) 西弘嗣理事報告（財務担当）職務報告

地球惑星科学振興西田賞準備資金取扱い規則設置について提案があり、特定費用準備資金として資金化されることが確認された。

(7) 浜野洋三理事（大会運営担当）職務報告

2016年大会に向けたプログラム編成について西山忠男プログラム委員長から報告があった。

2017年大会予定については浜野理事より報告があった。

(8) JpGU2017年大会準備タスクフォース報告（末廣 潔 TF 主査）

前回理事会（#5 01/28/2016）以降の活動状況と活動方針の報告があった。

2016年大会のAGUとのジョイントセッションに向けて準備を進めている。

学生旅費援助について、海外および国内からの2016年大会参加学生への旅費支援額と応募者数の報告があった。

大会システムのリニューアルについて順調に推移しており2017年大会に向けてさらに機能改善を図るとの報告があった。

AGUとの連携について現在、AGU側の2017年プログラム委員を選考中と報告された。

それに伴いAGU本部での会議は4月4日に予定している。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(午後 6 時 00 分)
以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席役員は次に記名・押
印する。(捺印欄配布時省略)

平成 28 年 3 月 10 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第 6 回理事会

| | | | |
|------|-----|-----|---|
| 出席理事 | 津田 | 敏隆 | 印 |
| 出席理事 | 木村 | 学 | 印 |
| 出席理事 | 中村 | 正人 | 印 |
| 出席理事 | 奥村 | 晃史 | 印 |
| 出席理事 | 高橋 | 幸弘 | 印 |
| 出席理事 | 瀧上 | 豊 | 印 |
| 出席理事 | 田中 | 賢治 | 印 |
| 出席理事 | 西 | 弘嗣 | 印 |
| 出席理事 | 畠山 | 正恒 | 印 |
| 出席理事 | 浜野 | 洋三 | 印 |
| 出席理事 | 日比谷 | 紀之 | 印 |
| 出席理事 | 古村 | 孝史 | 印 |
| 出席理事 | 村山 | 泰啓 | 印 |
| 出席理事 | 渡邊 | 誠一郎 | 印 |